

第４学年「外国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 授業で行う英語のゲームやALTとの会話のやり取りに関心をもち、意欲的に取り組む児童が多い。

課題 ▼ 英語の理解に対する個人差がある。

▼ 自信がなく、英語を話す声が小さくなってしまうことがある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

◇ 外国語による言語活動を通して、主体的にコミュニケーション図る力。

具体的な改善策

- 英語を正確に話すことより、コミュニケーションの一つの手段であることを実感させ、児童同士の外国語を使った交流やALTとの会話の機会を多くする。
- ALTとの会話、ペアワークやグループワークなど学習活動を取り入れ、様々な学習形態でのコミュニケーション活動を増やす。

達成目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。
- 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。